

ザリガニ（ニホンザリガニ）

Cambaroides japonicus

アメリカザリガニ科



ザリガニ。円内はウチダザリガニの頭部

名前の由来

ザリガニは「砂利にいるカニ」か？ 別名ニホンザリガニ。
漢字名：砂利蟹

形態的特徴

国レッドリスト（2007）：絶滅危惧Ⅱ類（VU）
水産庁レッドデータ：危急種

（文化財保護法：大館市の生息地は天然記念物）

形態的特徴

体長6cm程度。体の色は茶色。はさみと頭にトゲは無い。
頭の先（目と目の間）が三角形で一つの山になっている。
類似種と見分け方：アメリカザリガニ・ウチダザリガニ。
ザリガニ（アメリカザリガニも）の頭の先（目と目の間）

は三角形で一つの山になっているが、ウチダザリガニでは
ギザギザで三つの山になっている。
アメリカザリガニは、十勝では十勝川温泉周辺の温泉排水
が流入している水域のみに生息している。

生息環境・分布

年中水温が低い湧き水が流れる小川や山間の溪流・水のきれいな湖。

分布：日本固有種。国内分布は、北海道・青森県・秋田県

・岩手県（秋田県と岩手県は移入による）。
北海道内では、局所的に生息。
十勝地方では、局所的に生息。

食性・他の生物との関わり

堆積した有機物から小動物まで摂食する雑食性。

魚類・鳥類の餌となる。

繁殖生態・寿命

繁殖が可能になるまでに5年～6年かかる。冬に交尾をし、
春に40～60個ぐらいの卵を産み、腹に卵を抱える。腹肢を

動かして卵に新鮮な水を送りふ化を待つ。
寿命は10年～11年。

興味深い話

■ウチダザリガニやアメリカザリガニと違って、元々から
いた在来種である。これらと区別して「ニホンザリガニ」
と呼ぶこともある。

■ザリガニ（ニホンザリガニ）とアメリカザリガニは「ア
メリカザリガニ科（Parastacidae）」、一方ウチダザリガニ
は「ザリガニ科（Astacidae）」、とややこしい分類名にな

っている。

■以前は北海道では普通に生息していたが、周辺の開発と
ウチダザリガニの分布拡大のため減少している。遡上行動
が確認されている。

■十勝地方のアイヌ語では「テクンペコロカムイ」と呼ば
れる。

配慮事項

湧水を含む水域が重要である。

また、特に十勝地方ではウチダザリガニの移入の影響が大きい。

生活サイクル

| | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|-----|--|----|----|----|----|----|--|----|----|-----|-----|-----|
| 生育期 | [Blue bar indicating active growth period from Jan to Dec] | | | | | | | | | | | |
| 繁殖期 | [Red bar indicating reproduction period from Jan to Jun] | | | | | | [Red bar indicating reproduction period from Nov to Dec] | | | | | |

参考文献

「旭川市博物館企画展冊子」1998

「日本動物大百科 7 無脊椎動物」日高敏隆 平凡社 1997

「Japan Crayfisher Club」のホームページ

<http://www.alpha-net.ne.jp/users2/cray7/bunnrui.htm>

「ニホンザリガニってどんな生き物(講演記録)」川井唯史(2007)、
里川づくり実行委員会のウェブページ

<http://www.netbeet.ne.jp/~kikuchi/zarigani/symposium2006/01.pdf>

魚類

底生動物

両生類
爬虫類

トンボ

チョウ

樹木

(在来種) 草花

(外来種) 草花

哺乳類

(水辺) 鳥類

(草原・樹林) 鳥類
ワシ・タカ